

日本気管食道科学会より

『 深頸部膿瘍後嚥下障害の全国調査 』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

全国の気管食道科学会認定専門医研修施設に対し、深頸部膿瘍症例について、深頸部膿瘍治療後の嚥下機能障害の程度、頻度を全国調査し、嚥下障害を併発した場合の入院期間や摂食嚥下機能の予後、また嚥下リハビリテーションと嚥下機能改善手術の効果などを検討するものです。

➤ 研究（調査）の方法

- ・深頸部膿瘍のステージ別症例数
- ・症例ごとの入院期間、問診データ、嚥下内視鏡検査、嚥下造影所見、患者背景
- ・嚥下障害を来した症例におけるリハビリテーション介入前後の嚥下内視鏡検査、嚥下造影所見
- ・嚥下機能改善手術前後の嚥下内視鏡検査、嚥下造影所見
- ・介入時期、入院期間、栄養摂取状況

➤ 研究（調査）の参加施設

全国の気管食道科学会認定専門医研修施設

➤ 調査期間

承認日～2022年3月31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 2011年4月1日以降に入院し、2021年3月31日までに退院した20歳以上の深頸部膿瘍の患者さん

➤ この調査への協力は任意です。

本研究に関して新たに患者さんに行っていたいただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：小川 武則 （施設名）岐阜大学耳鼻咽喉科

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F

E-mail : jbes@kishoku.jp